

2023年6月7日

東北大学大学院文学研究科・文学部
2022（令和4）年度 授業評価・教育環境評価アンケート
実施報告

学務教育室 教育改善担当 浅岡 善治

本報告は、2022（令和4）年度に、学務教育室・教育改善担当と教務係が、本研究生・学部生を対象に実施した「授業評価アンケート（授業に関するアンケート）」および「教育環境アンケート」の結果を集計し、さらに総評を付したものである。

これらのアンケートは2019年度までは紙媒体で配布・回収する方式でおこなっていたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延を受けて、2020年度からオンライン方式へと移行し、今年度もそれを踏襲した。授業の実施形態そのものについては、2022年度は対面形式への復帰が本格化している。

個々の授業ごとの授業評価アンケートの結果は、回答者による自由記述も含めて、教務係から授業担当者へと回送され、今後の授業改善の資料としていただいている。また、さらにそこから必要に応じて教育改善担当宛にフィードバックをいただき、今後は教育評価検証委員会において改善策等を検討することとしている。

教育環境評価アンケートの「自由記述」については、受講者の「生の声」を拾うべく、できるだけ多くのものを掲載してある。

文学研究科・文学部では、授業評価アンケートは1998（平成10）年度後期から、教育環境評価アンケートは2003（平成15）年度後期から開始された。質問項目は適宜改訂されてきているが、特に2020年度のアンケートではオンライン授業への移行を踏まえて大幅な変更が加えられた。今年度は、対面授業への回帰傾向を考慮して、昨年度の項目に微修正を加えている。

これらのデータは、文学研究科・文学部の今後の教育活動の在り方を考えるうえで重要な資料となるものと思われる。質問項目、実施方法等については、今後とも客観状況を考慮した検討を重ね、改善を図っていく所存である。

総評

【回答数・回答率】

授業評価アンケートは前期・後期の各学期末に実施し、教育環境評価アンケートは学年末に実施した。昨年度、一昨年度と同様、授業アンケートについては各授業の Google Classroom のストリームを通じて、教育環境評価アンケートについては電子メールを通じて受講者に告知し、Google Form で回答してもらうという形式を採用した。

授業評価アンケートの対象者は、本学部の開講科目（1年生向けの人文社会総論、人文社

会序論、英語原書講読入門を含む)、および本研究科の大学院向け開講科目の履修者である。

履修者は前期と後期を併せ延べ受講人数で9,907名であり、うち回答数は2,329であったので、回答率は23.5%となる。昨年度の27.2%よりも低下しており、特に大学院の回答率の低下が著しい。かつて紙媒体でアンケートを実施していた時は半期でも回答数は3000を上回っていたので、集計面ではメリットが大きいオンライン方式のアンケートではあるが、なおも実施面での問題が少なくないことがわかる。

教育環境評価アンケートは、学部2年生から大学院生まで、アンケートの依頼メールを1,134名に発送した。結果、127名から回答が得られたので、回答率は11.2%となる。こちらも昨年度の数値15.3%から低下している。

授業評価、教育環境評価のいずれのアンケートについても、回答率向上のための取り組みが引き続き課題となっている。

授業評価アンケート回答率	
学部	21.8%
大学院	37.6%
全体	23.5%

教育環境評価アンケート回答率	
全体	11.2%

授業評価アンケートについて (5～12 頁)

授業評価アンケートは例年通り、学部の講義、演習、大学院の講義、演習の順で集計結果を列挙している。ただし今年度は、昨年度に引き続き一部グラフを割愛した。

【出席率】

オンライン授業への移行から出席率は高めに推移してきたが、今年度は最上位「81～100%」のカテゴリが減少し、「61～80%」以下への一定のシフトが看取された。これは、今年度における対面授業への復帰の本格化の影響とみられる。

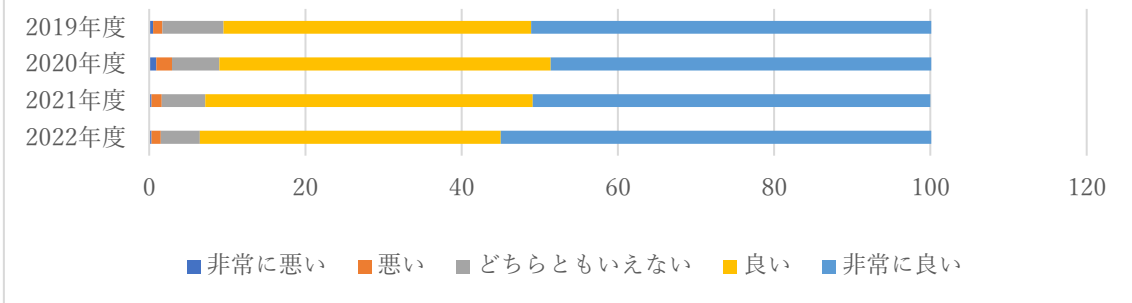
【授業の総合評価】

次の表は、総合評価の項目について、学部と大学院、講義と演習を総計した数値を、2019年度から4年度にわたって比較したものである。

この授業を総合的に判断すると、どんな評価になりますか(大学院・学部の演習・講義合算)

	非常に悪い	悪い	どちらともいえない	良い	非常に良い
2019年度	0.5%	1.2%	7.8%	39.4%	51.2%
2020年度	0.9%	2.0%	6.1%	42.4%	48.7%
2021年度	0.3%	1.3%	5.6%	41.9%	50.9%
2022年度	0.3%	1.2%	5.0%	38.5%	55.1%

この授業を総合的に評価すると、どんな評価になりますか。
(大学院・学部の演習・講義の合算)



この授業の総合評価（「この授業を総合的に判断すると、どんな評価になりますか」への回答）については、引き続き高評価で推移しているだけでなく、「非常に良い」の項目が増加してさらに満足度が上がっている。当該項目だけに限れば、コロナ禍以前の水準へ回復したとみることもできよう。これについても、対面授業への復帰との関係性が伺える。

【学習時間】

オンライン授業への移行の結果、受講者の予習・復習に費やす時間の増加が確認されてきたが、この傾向は2022年度も続き、特に大学院では伸長が顕著である。今後の「ポスト・コロナ」下における展開が注目される。

予習・復習・授業等に4時間以上	
学部講義	14.4%
学部演習	37.8%
大学院講義	34.7%
大学院演習	46.8%

【オンライン教育、効果的な点】

年度平均で大学院・学部ともに演習の4割強、講義の2割弱が対面実施に復帰したとみられる。この点を踏まえても、オンライン授業への満足度はなおも高い。教材や資料、授業方法についての満足度も、改善傾向が見られる。

教育環境評価アンケートについて（13頁以下）

【A.カリキュラム・指導】

コロナ禍以降、低下傾向にあった（１）ガイダンスやオリエンテーションの意義、（２）『学生便覧』・『シラバス』の意義については、「役に立たなかった」が微増し、（３）教員による履修指導・論文指導の適切さについても肯定的な評価が微減し、「どちらともいえない」が増加している。（４）カリキュラムについての満足度も低下傾向が見られる。

自由記述欄では、必修科目や免許関連科目についての不満が見られる。

【B. サービス・施設】

（６）事務窓口の対応については、明確な肯定・否定が減少し、「どちらともいえない」が増えた。自由記述欄では具体的な不備の指摘が多い。（７）学内の設備については、対面授業の増加の影響か、否定的な評価が増加した。同様の傾向は、（９）厚生施設についてもあてはまる。

【C. オンライン授業】

前項（８）の設備面の評価も含め、（１０）オンライン授業への満足度は非常に高く、（１１）通信環境への不満も解消傾向が見られる。自由記述欄では、今後も並行（ハイブリッド）実施の形でのオンライン授業の継続を求める意見も見られ、今後の対応が注目されている。

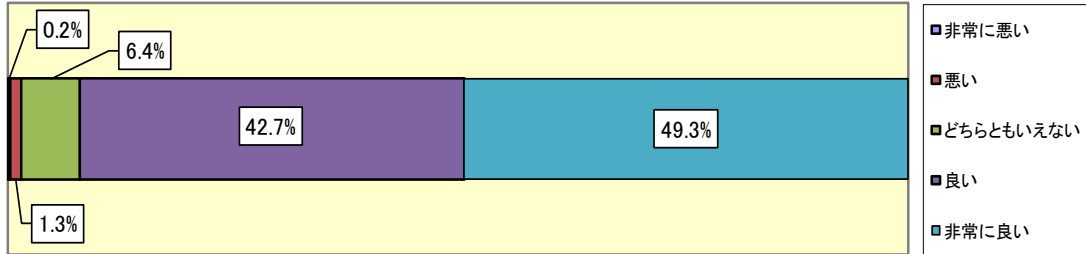
【D. 学生生活】

（１４）ハラスメントへの対応、（１５）学生生活の満足度、ともに肯定的な評価が微減し、中間的、あるいは否定的な評価へのシフトが生じている。（１６）学生生活で困ったことについては、課外活動や活動制限についての不満が減少した。ここにも、2022年度におけるコロナ禍の収束傾向が反映されていると思われる。

授業評価アンケート集計結果（学部・講義）

履修登録者数:	6,313 名	回答者数:	1,241 名	回答率:	20%					
				20%以下	～40%	～60%	～80%	～100%	合	
この授業にどれくらい出席しましたか。				0.2%	0.1%	0.9%	10.3%	88.5%	100.0%	
				全くしなかった	～ 1時間程度	～ 3時間以上			合	
この授業の予習を、週平均でどの程度しましたか。				56.2%	26.9%	10.3%	4.4%	2.3%	100.0%	
				全くしなかった	～ 1時間程度	～ 3時間以上			合	
この授業の復習を、週平均でどの程度しましたか。				23.4%	48.3%	19.6%	5.4%	3.3%	100.0%	
				2時間以内	～ 4時間程度	～ 6時間以上			合	
予習・復習・授業を含めて、この授業に週平均でどれほどの時間をかけましたか。				59.0%	26.6%	8.5%	3.4%	2.5%	100.0%	
この授業はおもにどのような形式でしたか。										
	同時双方向 (リアルタイム)	録画・録音の配信 (オンデマンド)	資料提示・ 課題提出	ハイブリッド方式 で、主に対面	ハイブリッド方式 で、主に遠隔	その他	合計			
	42.1%	19.1%	6.0%	22.5%	1.0%	9.2%	100.0%			
この授業はオンラインに適切に対応していたと思いますか。										
	そう思わない	どちらかといえば そう思わない	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思う	そう思う	今年度は基本的に 対面実施だった	合計			
	3.3%	3.0%	4.8%	13.8%	55.2%	20.0%	100.0%			
										そう思わない～どちらともいえない～そう思う 合
授業内容は系統的によく整理されていましたか。										
										1.1% 1.5% 4.7% 24.7% 68.1% 100.0%
成績評価方法について説明を受けましたか。										
										1.0% 1.9% 5.7% 18.0% 73.4% 100.0%
講義概要(または開講時に示された授業計画)を基本にした授業が行われましたか。										
										0.4% 0.4% 2.9% 18.9% 77.4% 100.0%
教員の説明、解説、助言等はわかりやすかったですか。										
										1.3% 2.0% 5.2% 24.3% 67.2% 100.0%
テキスト、資料、板書、各種教材等は理解しやすかったですか。										
										1.5% 3.1% 7.2% 27.4% 60.8% 100.0%
この授業で新しい知識や技能を獲得できたと思いますか。										
										0.6% 1.1% 2.1% 21.8% 74.4% 100.0%
										遅すぎる～ちょうどよい～速すぎる 合
授業を進める速さは適切でしたか。										
										0.3% 3.9% 85.6% 7.7% 2.4% 100.0%
										非常に悪い～どちらともいえない～非常に良い 合
この授業を総合的に判断すると、どんな評価になりますか。										
										0.2% 1.3% 6.4% 42.7% 49.3% 100.0%
この授業で特に効果的だった点、あるいは改善してほしい点がありましたら、チェックを入れてください。(複数選択・無選択可)										
		板書	スライド(パワーポイントなどを含む)	配布資料	視覚教材	教科書・参考書				
特に効果的		13.1%	38.8%	41.8%	16.1%	12.2%				
改善してほしい		1.4%	3.7%	4.4%	0.9%	2.0%				
		質疑応答(チャットなどを含む)	グループ・ワーク	教員との面談	講義動画・音声	Google ClassroomやMeetなどの機能				
特に効果的		19.3%	11.8%	7.1%	15.8%	12.5%				
改善してほしい		2.3%	2.4%	1.5%	3.1%	1.4%				

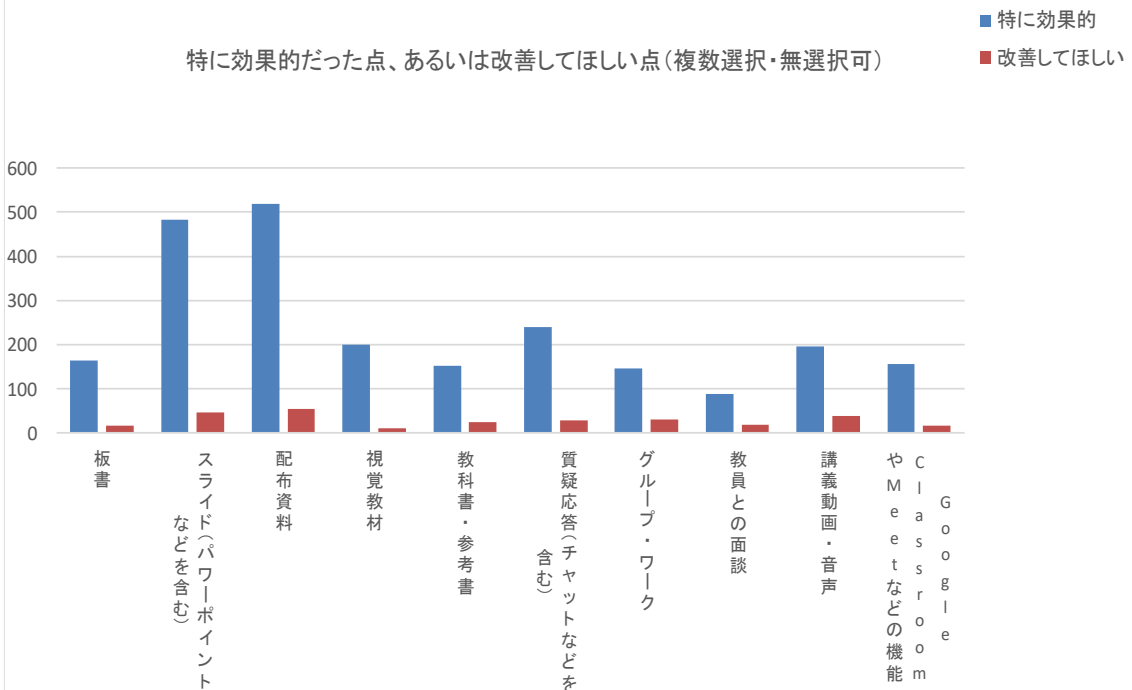
この授業を総合的に判断すると、どんな評価になりますか。



この授業で特に効果的だった点、あるいは改善してほしい点がありましたら、チェックを入れてください。(複数選択・無選択可)

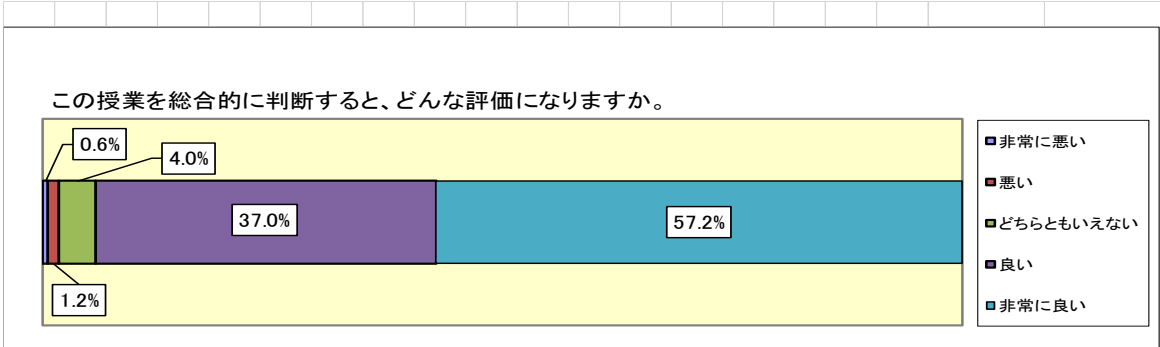
	板書	スライド(パワーポイントなどを含む)	配布資料	視覚教材	教科書・参考書
特に効果的	163	482	519	200	151
改善してほしい	17	46	55	11	25
	質疑応答(チャットなどを含む)	グループワーク	教員との面談	講義動画・音声	Google ClassroomやMeetなどの機能
特に効果的	240	146	88	196	155
改善してほしい	28	30	19	38	17

特に効果的だった点、あるいは改善してほしい点(複数選択・無選択可)



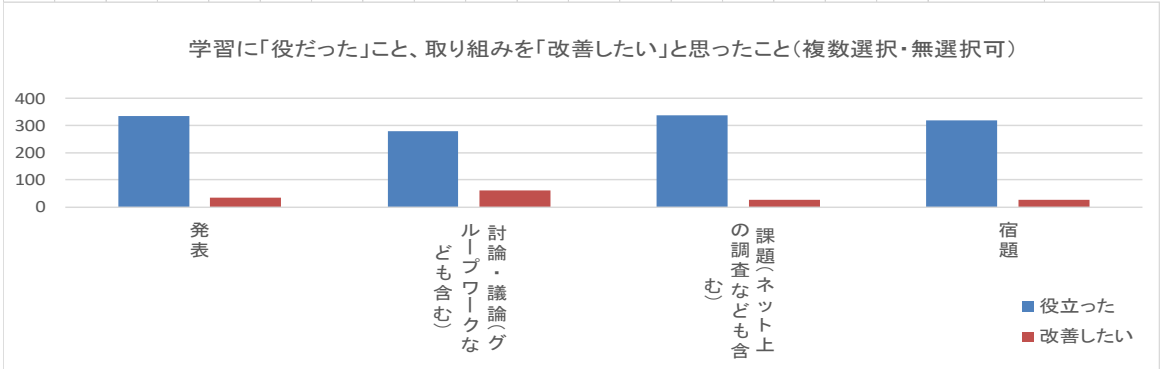
授業評価アンケート集計結果（学部・演習）

履修登録者数:	2,503名	回答者数:	678名	回答率:	27.1%					
					20%以下	～40%	～60%	～80%	～100%	合
この授業にどれくらい出席しましたか。					0.0%	0.1%	1.3%	12.4%	86.1%	100.0%
					全くしなかった	～1時間程度	～3時間以上			合
この授業の予習を、週平均でどの程度しましたか。					17.3%	27.4%	28.2%	17.8%	9.3%	100.0%
					全くしなかった	～1時間程度	～3時間以上			合
この授業の復習を、週平均でどの程度しましたか。					20.6%	48.2%	22.9%	5.5%	2.8%	100.0%
					2時間以内	～4時間程度	～6時間以上			合
予習・復習・授業を含めて、この授業に週平均でどれほどの時間をかけましたか。					33.3%	34.8%	17.4%	8.4%	6.0%	100.0%
この授業はおもにどのような形式でしたか。										
	同時双方向 (リアルタイム)	録画・録音の配信 (オンデマンド)	資料提示・ 課題提出	ハイブリッド方式 で、主に対面	ハイブリッド方式 で、主に遠隔	その他	合計			
	36.3%	0.6%	1.3%	45.0%	1.3%	15.5%	100.0%			
この授業はオンラインに適切に対応していたと思いますか。										
	そう思わない	どちらかといえば そう思わない	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思う	そう思う	今年度は基本的に 対面実施だった	合計			
	4.7%	6.5%	6.8%	9.3%	31.3%	41.4%	100.0%			
					そう思わない	～どちらともいえない	～そう思う			合
成績評価方法について説明を受けましたか。					1.6%	2.9%	8.0%	23.5%	64.0%	100.0%
教員の説明、解説、助言等はわかりやすかったですか。					0.9%	1.2%	3.8%	20.9%	73.2%	100.0%
教員は効果的に学生の参加(発表・討論・学習等)を促していましたか。					2.4%	2.4%	6.2%	20.5%	68.6%	100.0%
この授業で新しい知識や技能を獲得できたと思いますか。					1.2%	0.4%	2.1%	17.3%	79.1%	100.0%
					非常に悪い	～どちらともいえない	～非常に良い			合
この授業を総合的に判断すると、どんな評価になりますか。					0.6%	1.2%	4.0%	37.0%	57.2%	100.0%
この授業であなたが行った活動のうち、特に学習に「役立った」こと、取り組みを「改善したい」と思ったことがありましたら、チェックを入れてください。(複数選択・無選択可)										
		発表	討論・議論(グ ループワークな ども含む)	課題(ネット上の 調査なども含む)	宿題					
	役立った	49.3%	41.2%	49.9%	47.1%					
	改善したい	5.0%	9.1%	4.0%	4.0%					



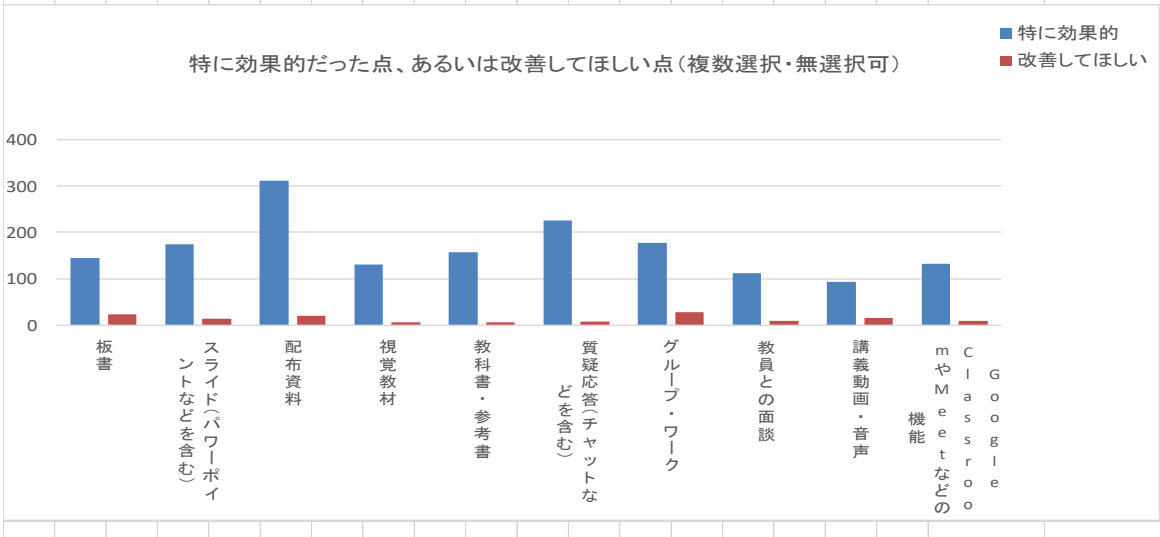
この授業であなたが行った活動のうち、特に学習に「役立った」こと、取り組みを「改善したい」と思ったことがありましたら、チェックを入れてください。(複数選択・無選択可)

	発表	討論・議論 (グループワークなども含む)	課題(ネット上の調査なども含む)	宿題
役立った	334	279	338	319
改善したい	34	62	27	27



この授業で特に効果的だった点、あるいは改善してほしい点がありましたら、チェックを入れてください。(複数選択・無選択可)

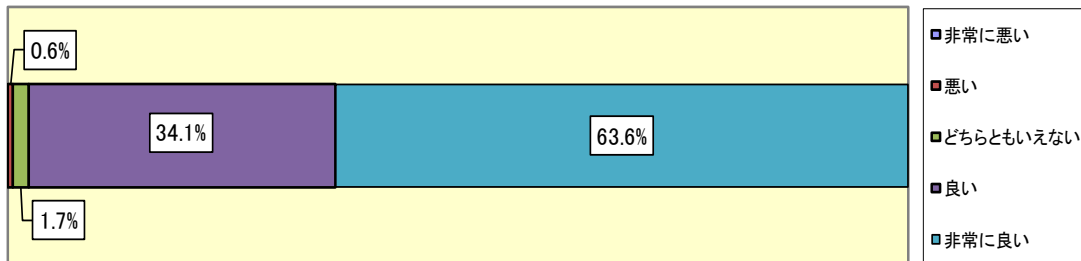
	板書	スライド(パワーポイントなども含む)	配布資料	視覚教材	教科書・参考書
特に効果的	144	175	311	130	157
改善してほしい	23	14	20	7	6
	質疑応答(チャットなどを含む)	グループワーク	教員との面談	講義動画・音声	Google ClassroomやMeetなどの機能
特に効果的	225	178	112	94	133
改善してほしい	8	28	9	15	10



授業評価アンケート集計結果（大学院・講義）

履修登録者数:	490名	回答者数:	173名	回答率:	35%					
					20%以下	～40%	～60%	～80%	～100%	合
この授業にどれくらい出席しましたか。					0.0%	0.0%	0.6%	14.5%	85.0%	100.0%
					全くしなかった	～1時間程度	～3時間以上			合
この授業の予習を、週平均でどの程度しましたか。					24.3%	26.0%	32.9%	10.4%	6.4%	100.0%
					全くしなかった	～1時間程度	～3時間以上			合
この授業の復習を、週平均でどの程度しましたか。					6.9%	32.4%	34.1%	21.4%	5.2%	100.0%
					2時間以内	～4時間程度	～6時間以上			合
予習・復習・授業を含めて、この授業に週平均でどれほどの時間をかけましたか。					32.4%	32.9%	19.1%	12.1%	3.5%	100.0%
この授業はおもにどのような形式でしたか。										
	同時双方向 (リアルタイム)	録画・録音の配信 (オンデマンド)	資料提示・ 課題提出	ハイブリッド方式 で、主に対面	ハイブリッド方式 で、主に遠隔	その他	合計			
	37.6%	41.0%	5.2%	12.1%	1.2%	2.9%	100.0%			
この授業はオンラインに適切に対応していたと思いますか。										
	そう思わない	どちらかといえば そう思わない	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思う	そう思う	今年度は基本的に 対面実施だった	合計			
	0.6%	4.0%	3.5%	9.2%	68.2%	14.5%	100.0%			
					そう思わない	～どちらともいえない	～そう思う			合
授業内容は系統的によく整理されていきましたか。					1.7%	2.3%	3.5%	14.5%	78.0%	100.0%
成績評価方法について説明を受けましたか。					0.0%	2.9%	6.4%	13.3%	77.5%	100.0%
講義概要(または開講時に示された授業計画)を基本にした授業が行われましたか。					0.0%	0.6%	1.7%	9.8%	87.9%	100.0%
教員の説明、解説、助言等はわかりやすかったですか。					0.0%	2.3%	2.3%	9.8%	85.5%	100.0%
テキスト、資料、板書、各種教材等は理解しやすかったですか。					0.0%	1.7%	2.9%	13.3%	82.1%	100.0%
この授業で新しい知識や技能を獲得できたと思いますか。					0.0%	1.2%	1.2%	8.1%	89.6%	100.0%
					遅すぎる	～ちょうどよい	～速すぎる			合
授業を進める速さは適切でしたか。					0.0%	1.2%	85.0%	9.8%	4.0%	100.0%
					非常に悪い	～どちらともいえない	～非常に良い			合
この授業を総合的に判断すると、どんな評価になりますか。					0.0%	0.6%	1.7%	34.1%	63.6%	100.0%
この授業で特に効果的だった点、あるいは改善してほしい点がありましたら、チェックを入れてください。(複数選択・無選択可)										
		板書	スライド(パワーポイントなどを含む)	配布資料	視覚教材	教科書・参考書				
特に効果的		35.8%	48.6%	59.0%	40.5%	37.0%				
改善してほしい		1.7%	2.3%	2.9%	1.2%	3.5%				
		質疑応答(チャットなどを含む)	グループ・ワーク	教員との面談	講義動画・音声	Google ClassroomやMeetなどの機能				
特に効果的		40.5%	31.2%	28.9%	43.4%	32.9%				
改善してほしい		5.2%	2.3%	4.0%	2.9%	2.3%				

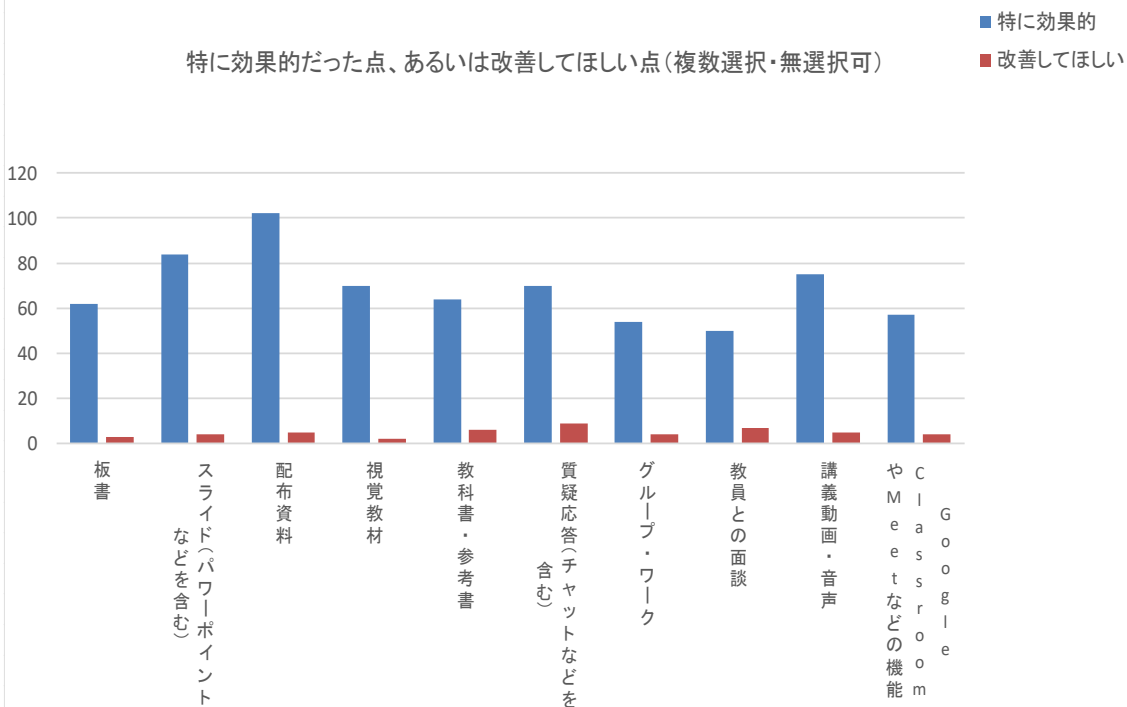
この授業を総合的に判断すると、どんな評価になりますか。



この授業で特に効果的だった点、あるいは改善してほしい点がありましたら、チェックを入れてください。(複数選択・無選択可)

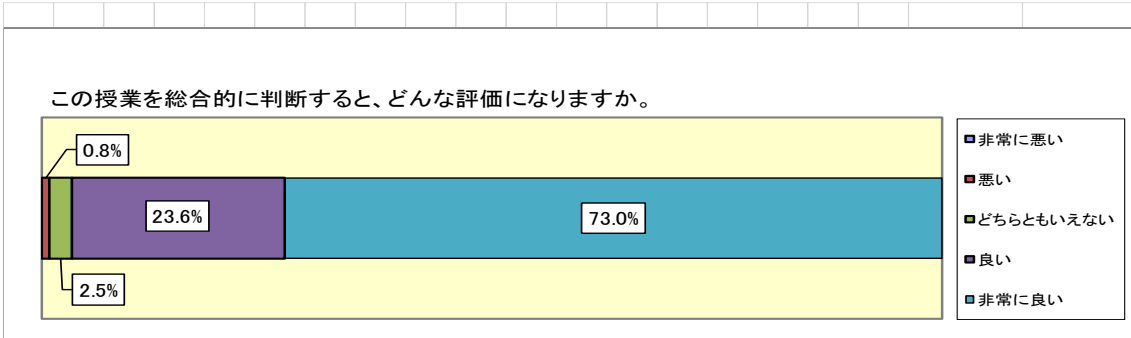
	板書	スライド(パワーポイントなどを含む)	配布資料	視覚教材	教科書・参考書
特に効果的	62	84	102	70	64
改善してほしい	3	4	5	2	6
	質疑応答(チャットなどを含む)	グループワーク	教員との面談	講義動画・音声	Google ClassroomやMeetなどの機能
特に効果的	70	54	50	75	57
改善してほしい	9	4	7	5	4

特に効果的だった点、あるいは改善してほしい点(複数選択・無選択可)



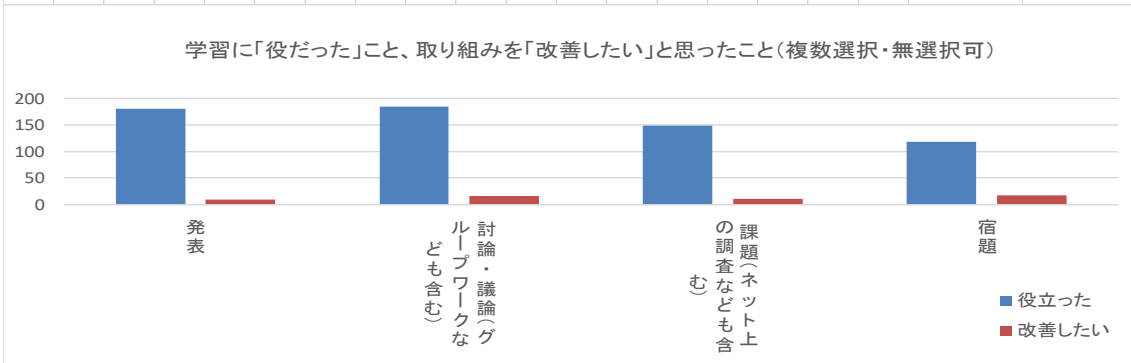
授業評価アンケート集計結果（大学院・演習）

履修登録者数:	601名	回答者数:	237名	回答率:	39.4%						
						20%以下	～40%	～60%	～80%	～100%	合
この授業にどれくらい出席しましたか。						0.0%	0.0%	1.3%	16.0%	82.7%	100.0%
						全くしなかった	～1時間程度	～3時間以上			合
この授業の予習を、週平均でどの程度しましたか。						3.0%	16.5%	35.0%	25.7%	19.8%	100.0%
						全くしなかった	～1時間程度	～3時間以上			合
この授業の復習を、週平均でどの程度しましたか。						11.8%	40.9%	35.0%	6.8%	5.5%	100.0%
						2時間以内	～4時間程度	～6時間以上			合
予習・復習・授業を含めて、この授業に週平均でどれほどの時間をかけましたか。						22.8%	30.4%	21.1%	14.3%	11.4%	100.0%
この授業はおもにどのような形式でしたか。											
	同時双方向 (リアルタイム)	録画・録音の配信 (オンデマンド)	資料提示・ 課題提出	ハイブリッド方式 で、主に対面	ハイブリッド方式 で、主に遠隔	その他	合計				
	36.3%	0.8%	1.3%	52.7%	3.0%	5.9%	100.0%				
この授業はオンラインに適切に対応していたと思いますか。											
	そう思わない	どちらかといえば そう思わない	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思う	そう思う	今年度は基本的に 対面実施だった	合計				
	3.4%	4.2%	5.9%	12.2%	34.2%	40.1%	100.0%				
						そう思わない	～どちらともいえない	～そう思う			合
成績評価方法について説明を受けましたか。						0.4%	2.1%	6.3%	13.5%	77.6%	100.0%
教員の説明、解説、助言等はわかりやすかったですか。						0.4%	0.4%	3.0%	13.9%	82.3%	100.0%
教員は効果的に学生の参加(発表・討論・学習等)を促していましたか。						0.0%	0.8%	1.7%	12.7%	84.8%	100.0%
この授業で新しい知識や技能を獲得できたと思いますか。						0.4%	1.7%	1.3%	10.5%	86.1%	100.0%
						非常に悪い	～どちらともいえない	～非常に良い			合
この授業を総合的に判断すると、どんな評価になりますか。						0.0%	0.8%	2.5%	23.6%	73.0%	100.0%
この授業であなたが行った活動のうち、特に学習に「役立った」こと、取り組みを「改善したい」と思ったことがありましたら、チェックを入れてください。(複数選択・無選択可)											
		発表	討論・議論(グ ループワークな ども含む)	課題(ネット上の 調査なども含む)	宿題						
	役立った	76.4%	78.1%	62.9%	50.2%						
	改善したい	3.8%	6.8%	4.6%	7.2%						



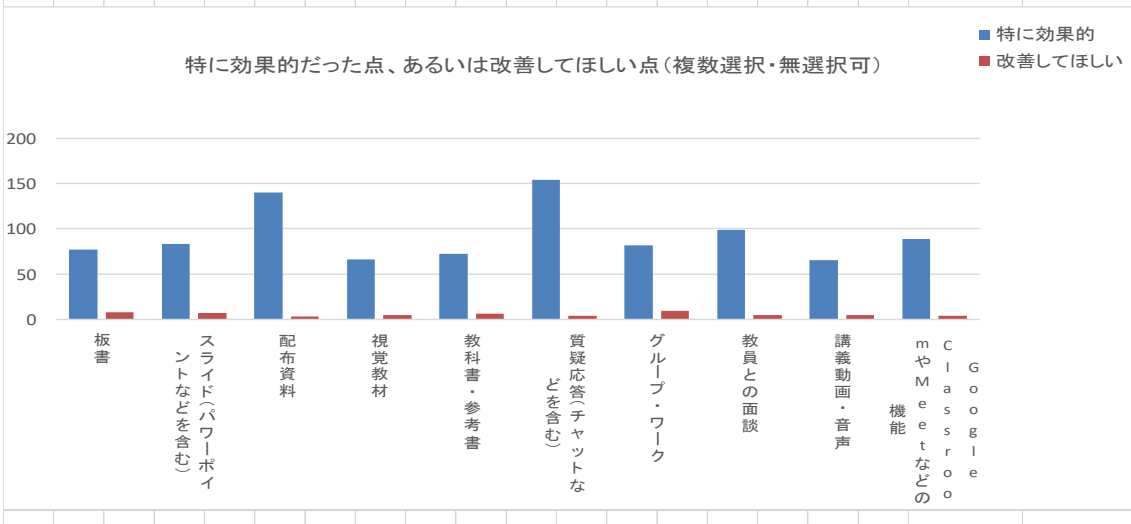
この授業であなたが行った活動のうち、特に学習に「役立った」こと、取り組みを「改善したい」と思ったことがありましたら、チェックを入れてください。(複数選択・無選択可)

	発表	討論・議論 (グループワークなども含む)	課題(ネット上の 調査なども含む)	宿題
役立った	181	185	149	119
改善したい	9	16	11	17



この授業で特に効果的だった点、あるいは改善してほしい点がありましたら、チェックを入れてください。(複数選択・無選択可)

	板書	スライド(パワー ポイントなどを含む)	配布資料	視覚教材	教科書・参考 書
特に効果的	77	83	140	66	72
改善してほしい	8	7	3	5	6
	質疑応答 (チャットなどを 含む)	グループ・ワ ーク	教員との面談	講義動画・音 声	Google Classroomや Meetなどの機能
特に効果的	154	82	99	65	89
改善してほしい	4	9	5	5	4



教育環境評価アンケート集計結果

学年別 回答割合

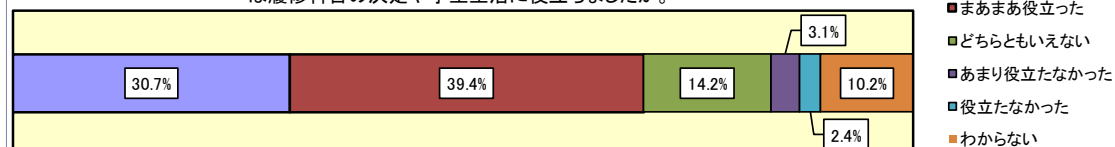
あなたの学年を教えてください。	
学部2年	18.9%
学部3年	18.1%
学部4年	16.5%
大学院前期課程1年	7.9%
大学院前期課程2年	11.0%
大学院後期課程1年	4.7%
大学院後期課程2年	8.7%
大学院後期課程3年	14.2%

A. カリキュラム・指導

(1) 各種ガイダンス(及びガイダンス資料)やオリエンテーション(及びWEBページ)は履修科目の決定や学生生活に役立ちましたか。

役立った	30.7%
まあまあ役立った	39.4%
どちらともいえない	14.2%
あまり役立たなかった	3.1%
役立たなかった	2.4%
わからない	10.2%

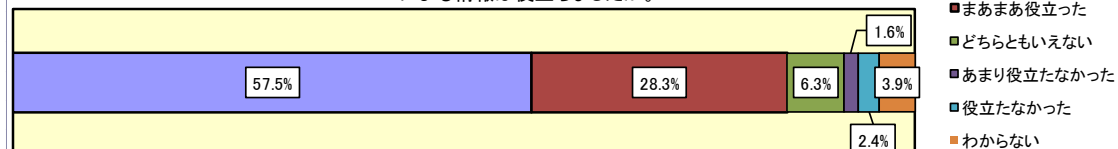
(1) 各種ガイダンス(及びガイダンス資料)やオリエンテーション(及びWEBページ)は履修科目の決定や学生生活に役立ちましたか。



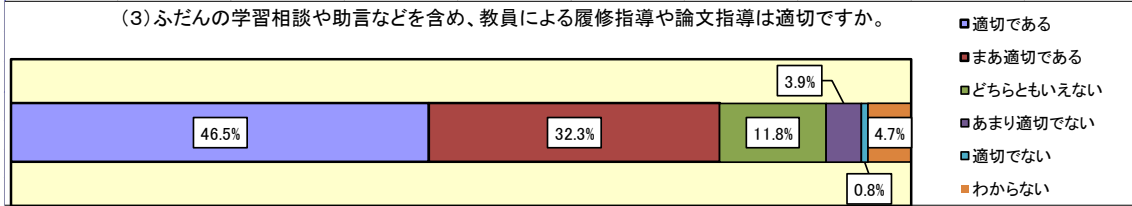
(2) 授業科目の履修に当たって『学生便覧』や『講義概要』(及びシラバスのWEBページ)による情報は役立ちましたか。

役立った	57.5%
まあまあ役立った	28.3%
どちらともいえない	6.3%
あまり役立たなかった	1.6%
役立たなかった	2.4%
わからない	3.9%

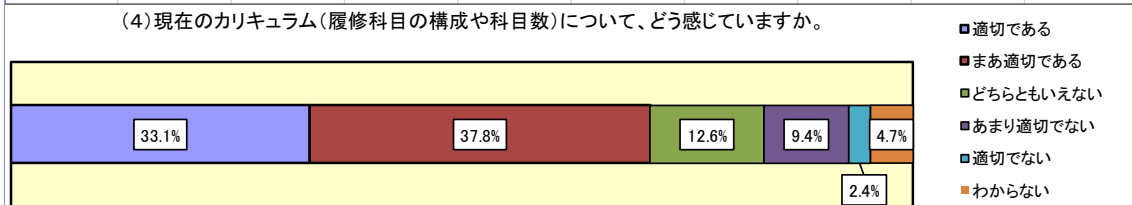
(2) 授業科目の履修に当たって『学生便覧』や『講義概要』(及びシラバスのWEBページ)による情報は役立ちましたか。



(3)ふだんの学習相談や助言を含め、教員による履修指導や論文指導は適切ですか。	
適切である	46.5%
まあ適切である	32.3%
どちらともいえない	11.8%
あまり適切でない	3.9%
適切でない	0.8%
わからない	4.7%



(4)現在のカリキュラム(履修科目の構成や科目数)について、どう感じていますか。	
適切である	33.1%
まあ適切である	37.8%
どちらともいえない	12.6%
あまり適切でない	9.4%
適切でない	2.4%
わからない	4.7%



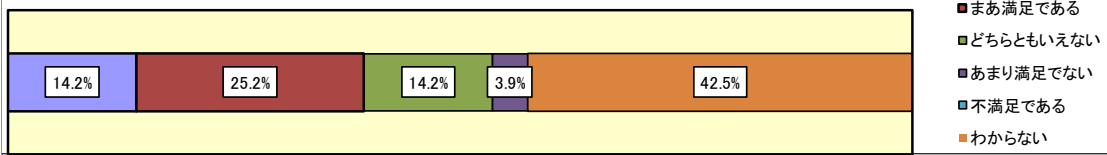
- (設問A全体)上記の質問・回答について、具体的な理由・意見等があれば記入してください(自由回答)。
- 習得単位が多く研究に集中できない
 - 通常の博士課程の学生と、国際共同大学院の学生との間で授業数に差がありすぎる
 - 必修科目が多く研究に差し支えがある
 - 専門社会調査士などの資格を取得しようとする学生もいるのだが、必要科目が隔年間隔で開講されているので取りづらいこともある。
 - 自分の専攻以外に、卒業するために取得しなくてはならない単位の数が多すぎる
 - 履修に関しての説明が少なすぎる。先輩や友達の力を借りないと不安になってしまう。もっと便覧の説明をわかりやすくするか、ガイダンスでの説明を丁寧にして欲しい。
 - 学務情報システムでシラバスを検索するのは大変難しいです。英語を第一言語とする学生にも全学教育の英語の履修を強要するのは適切ではありません。
 - 外部機関で研究に従事するため休学中であり、2022後期は授業科目に参加していない。
 - 授業内容と指導について不満がある。学びの質を保障できていないように感じる人が多い。
 - 同時代・同じ分野の特論を通年で開講してほしい
 - 研究を阻害する必修科目が多い
 - 授業数が多く、予習も必要なため、研究に時間を割くのが難しい時期があります。
 - 他学部開講授業が教職の必修であることについて、その周知はなされるべきである。万が一卒業前までに履修がなされないようなことがないようにその前のセメスターや履修登録期間に先だって説明・連絡を入れる方がよい。

B. サービス・施設

(5) 授業以外の講座(就職講座、公務員講座、教員養成講座)等について、どのように感じていますか。

満足である	14.2%
まあ満足である	25.2%
どちらともいえない	14.2%
あまり満足でない	3.9%
不満足である	0.0%
わからない	42.5%

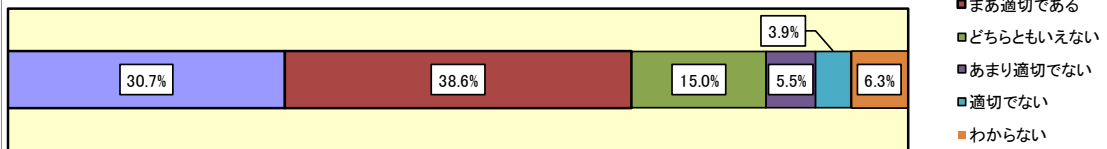
(5) 授業以外の講座(就職講座、公務員講座、教員養成講座)等について、どのように感じていますか。



(6) 教務係をはじめとする事務窓口の対応について、どう感じていますか。

適切である	30.7%
まあ適切である	38.6%
どちらともいえない	15.0%
あまり適切でない	5.5%
適切でない	3.9%
わからない	6.3%

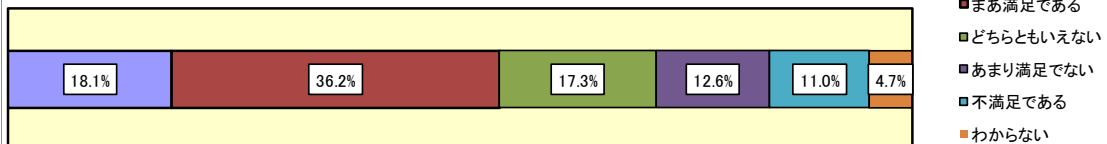
(6) 教務係をはじめとする事務窓口の対応について、どう感じていますか。



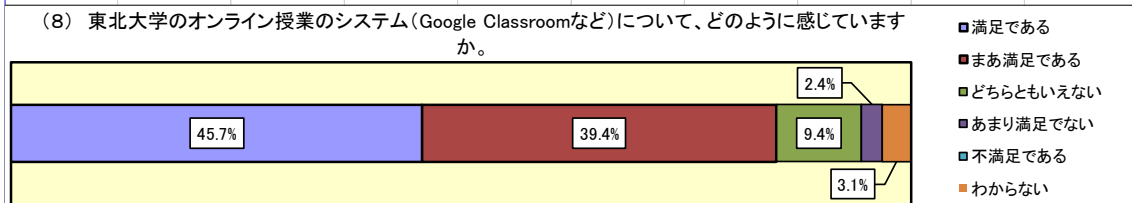
(7) 文学研究科・文学部の教室(自習スペース)や研究室の設備について、どの程度満足していますか。

満足である	18.1%
まあ満足である	36.2%
どちらともいえない	17.3%
あまり満足でない	12.6%
不満足である	11.0%
わからない	4.7%

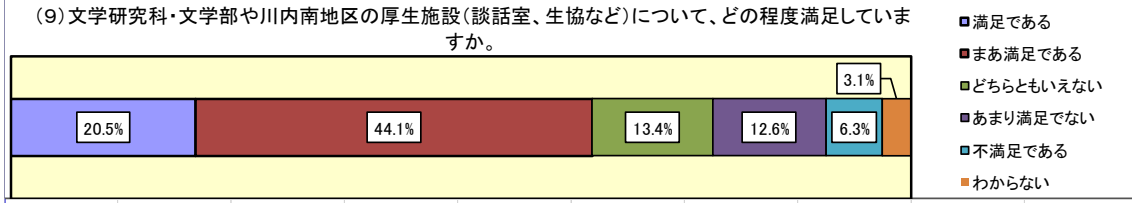
(7) 文学研究科・文学部の教室(自習スペース)や研究室の設備について、どの程度満足していますか



(8) 東北大学のオンライン授業のシステム(Google Classroomなど)について、どのように感じていますか。	
満足である	45.7%
まあ満足である	39.4%
どちらともいえない	9.4%
あまり満足でない	2.4%
不満足である	0.0%
わからない	3.1%



(9) 文学研究科・文学部や川内南地区の厚生施設(談話室、生協など)について、どの程度満足していますか。	
満足である	20.5%
まあ満足である	44.1%
どちらともいえない	13.4%
あまり満足でない	12.6%
不満足である	6.3%
わからない	3.1%



(B全体)上記の質問・回答について、具体的な理由・意見等があれば記入してください(自由回答)。

窓口で定期券を発行申請書類にはんこを押してもらっただけなのに時間がかかりすぎる。
全学の窓口ではその場でもらえるのに、文学部では数日かかる。

生協の開店時間を早くしてほしい。

wi-fiが繋がりにくいことがよくあるので、改善していただきますと助かります。

文学研究科に必ず、事務全般の対応について不満があります。具体的な事例はたくさんありますが、共通するのは以下の項目です。

- ・責任の所在の不明瞭、およびそれに伴うたらい回しが多すぎる
- ・ハンコレスが宣言されたはずなのにほとんど実行されていない
- ・事務手続きの電子化が推進されているが、実際は紙書類をスキャン提出したり、後に原本書類の提出が義務付けられていたり、電子化以前よりも作業工程が増えただけになっており、本末転倒だと感じる
- ・会計など、手続きが煩雑になってしまうのは仕方がないが、新規利用者への年度はじめの説明が一切なく、こちらからアプローチしてようやく場当たりに説明がなされて非効率だったので、せめて各年度新規利用者(院生の研究員含む)には説明をした方が良く感じた。
- ・各種手続きについて、他の研究科および海外大学においてはオンライン手続きが実施されているものが、文学研究科ではほとんどが紙手続きのため、上記のようにさらに煩雑にならないような形で作業の効率化を願いたい

文系学生は附属図書館本館のみ20時以降は利用できても24時まで利用できないが、他の理系学部生・院生は分館に24時まで出入り可能で不公平と感じる。図書館でなくても、文系学生が24時まで学習に利用できる施設が必要だと考える。

研究室の設備が壊れているにもかかわらず事務が修復してくれない

- ・研究室の故意ではない破損箇所の修理をしてほしい。
- ・教室予約のシステムについて、Googleフォームなどで申請できるように改善してほしい。

研究室における冷暖房が度々故障することがある。特に冬場においては研究に集中できないほど極寒な時もある。エアコンを使用しても特に窓際の席は寒く感じる。

いつもお世話になっております。4点ほど、ご検討いただきたい点がございます。

- ①事務の窓口対応時間をもう少し長くしていただけるとありがたいです。特に人手の多い部署でしたら、交替で昼休憩を取ることで、昼休憩を短縮・省略できるのではないかと考えております。
- ②学期初めには、主に留学生の方が窓口集中し、書類1枚提出するのに長く待たなければいけない、といったことがしばしば起こっているように感じます。必要な場合だけでも、対応窓口を細分化していただけるとありがたいです。
- ③よく、職員の方々の待遇を良くするよう訴えかける張り紙などを構内で目にします。満足のいかない待遇の中で日々働かれることはきっと大変なこととお察しし、頭の下がる思いです。しかしながら、こちらとしては詳しい事情も分からず、解決のために何かができるわけでもなく、それでいてそのような広報物を目にすると、ただ困惑の思いがするばかりです。あれらは誰に、何をしてもらうために、掲げられているものなのでしょうか。それが不明瞭なまま、半ば感情的ともとれるあのような広報物がただ掲げられているだけでは、こちら側にも、訴えていらっしゃる皆様にも、益がないように思われます。この訴えの方法について、今一度、見直していただけないでしょうか。
- ④このようなアンケートに毎年回答しておりますが、その結果がどのように受け止められているのか、示していただけるとありがたいです。上記の①のことは毎年記入しておりますが、特に反映されていないようです。もちろん、全ての要望を受け入れることは不可能であると承知しておりますが、多かつた要望とそれに対する見解(受け入れの可否、難しい場合はその理由)など示していただけると、こちらとしても自分の意見が届いていることが分かり安心できるかと存じます。

以上、長々と申し訳ございません。ご検討くださいますよう、何卒よろしく願い申し上げます。

一部エアコンやトイレが故障している

東北文化研究室が狭く大学院生が書籍やPCを置いてそこで研究するには不向きかと感じる(書籍の落下防止および鍵の管理の適正化は進んだのでその分は利用しやすくなった)。
生協などの厚生施設はフードダイバーシティ的にまだまだ利用しづらいのであまり使用していない。

生協のシステムが1月より変更になったが、レジが混雑しすぎて3時間目の講義に間に合わない時がある。これは大きな欠陥だろうと感じる。

文系食堂の収容人数と、2~3限の間に川内南キャンパスにいる学生の人数のバランスがとれているとありがたい。
営業時間が短いため、営業中に混雑しすぎている。感染が不安である。

5限目の時間に、文学部棟の空き教室で勉強しようとしたら、警備員さんに、「その教室はもう授業で使わないので出て行ってください」と言われた。他の勉強場所もあるにはあるが、周りに人がいない環境で勉強したいと思ったので、少し残念だった。

夜遅くならまだしも、授業時間内に、空き教室で勉強するのは不可能なのだろうか。「学校」に「勉強」しに来ているのに、その場所すらも提供してもらえないのは、非常に悔しいと思う。

文学部・文学研究科の教務課の方の対応が優しく丁寧で、いつも有難く思っています。

生協の食堂は昼しか営業していません。

自習スペースを増設してほしい。

学食の営業時間が短い。

外部機関で研究に従事するため休学中であり、2022後期現在は施設等の利用がない。

3rd Cat Cafe のコーヒーがより美味しくなれば良いと思います。あるいは、W-double roast coffee の自動販売機が文学部の建物・図書館の近くにあれば、大変助かります。

研究室では学生の人数が多いため、大学院生の皆さんが自分のデスクを持たないのが残念に思っています。

511教室と135教室について、暖房の効きが悪いのか分からないがいつも寒い。

教務課が対応を分からず、間違った案内をされることがある。

生協はすぐ閉まる、かつ、ホットドリンクの設置がないため、不便である。

生協の開店時間をのばしてほしい

研究室に遅くまでいることが多々あるので、生協が15時などに閉まってしまうと困ることが多いです。また、自動販売機を研究科棟に設置してほしいです。

生協はもっと遅い時間まで開いてほしい

生協の営業時間が短いので、やや不便です。

文系喫茶ルポアの営業再開を願います。

自習スペースを充実させてほしい。

会話しながら勉強できるスペースが少ない。

教務課は手続きを迅速化してください。研究室はエアコンの威力が弱く寒いです。

生協のサービスが充実している

教務係の対応は、ときどき教員との間でたらい回しのような状況になる。双方の言うことが矛盾していたりして困る。

生協は、アプリの導入がされて以来混みやすくなったのが残念。

教室(特に大講義室)の暖房がきかずとても寒い。また文学部棟の壁にヒビが入っているのにそのままになっているのが安全面からも不安。また、食堂や購買がいつも混んでいて食べる時間が無くなってしまっているので、店を増やしたり人員を増やしたりしてほしい。

川内南キャンパスの学食に関して、夕飯も復活してください！！

文学部の談話室を18時以降も使用可能にしてください。

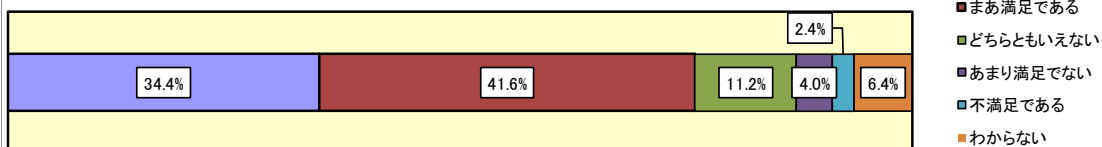
川内の厚生会館の食事は劣悪である。冷めきった料理(未解凍の部分が残っていると思えるくらい冷たい)が出されたことがある。お味噌汁の量も少ない。もしこれが一般的な外食店で為されていたら廃業するようなサービスの質である。学生や職員の健康に携わる仕事であり、食事をサービスとして提供する以上、料理が利用者にとどのようにつくのかを配慮した仕事をしてほしい。

C. オンライン授業

(10) 文学研究科・文学部のオンライン授業についてどの程度、満足していますか。

満足である	34.4%
まあ満足である	41.6%
どちらともいえない	11.2%
あまり満足でない	4.0%
不満足である	2.4%
わからない	6.4%

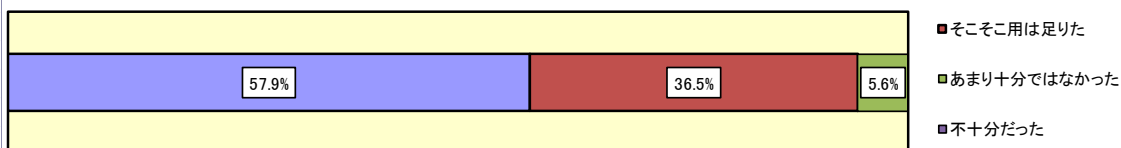
(10) 文学研究科・文学部のオンライン授業についてどの程度、満足していますか。



(11) オンライン授業であなたの通信環境は支障なく十分でしたか。

十分だった	57.9%
そこそこ用は足りた	36.5%
あまり十分ではなかった	5.6%
不十分だった	0.0%

(11) オンライン授業であなたの通信環境は支障なく十分でしたか。



(12) オンライン授業で困ったことがありますか。(複数回答可)

コンピュータの操作が難しい	6
授業に集中できない	36
質問しづらい	20
提出課題が多い	15
受講するのに適切な場所がない	26
学友と会話できず理解が深まらない	47
カメラで顔や私室を撮るのが不安	27
精神的疲労や眼精疲労がひどい	33
あてはまるものがない	22
その他	10
合計	242

その他

通信環境がよくない日がある

ときおり回線不調により音声や映像に乱れが生じた

教授のマイク音質が悪くほとんど聞き取れないことがあった。

自身のタブレットPCのスペックが追いつかない時があるので、カメラオフを多用したり、他のアプリを終了したりしないとイケない。また、こちらから授業中に何らかのファイルを送信しようとするとフリーズしてしまう。

90分の長さの講義動画をアップする先生もいますが、オンデマンドにしては長すぎます

時々音・スピーカーの問題がありました。

ネットの電波が良くないときもありました。

meetの仕様が変化しやすく使いづらい

時々通信環境が悪くなり、自分の声が伝わらない時があった。

Wi-Fiが繋がらない

(13) オンライン授業でよかった点を教えてください。(複数回答可)	
通学が不要で時間の節約になる	110
教室より勉強に集中しやすい	17
配付資料やスライドなどの教材がわかりやすい	46
いつでも、なんども復習できる	56
先生に質問しやすい	5
通信技術・パソコン操作に習熟できる	14
対人ストレスが減って楽になった	35
あてはまるものがない	4
その他	4
合計	291

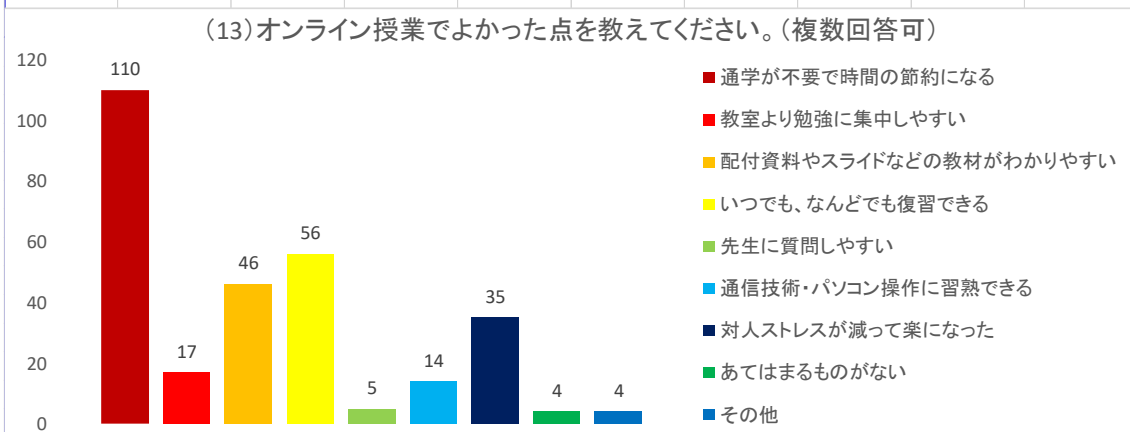
その他

資料がデータで配布され、管理が楽になった。

教室の密集した空気が好きではないため、精神的に楽である。

遠方から授業に参加できる

1.2.4.71に関連して、聴覚過敏など通常の対面授業で感じていた困難はオンラインになることで、複数回聞き直したり、音量を自分で調整したりできたため、ほぼ感じずに受講できた。



(C全体)上記の質問・回答について、具体的な理由・意見等があれば記入してください(自由回答)。

オンライン授業は通学の必要がなく対人ストレスも少ないので、身体精神問わず、疾患を抱えた者にも有用である。申し出があった際は対面のみの授業でもできる限りハイブリッド対応を検討してほしい。

海外教員からのレクチャーが受けやすくなったのは良いが、反面夜間の授業(5限終了以降)が増えるのは適切ではないのではないかと感じる

今後ともオンライン授業を継続してほしい。経済的・身体的な負担も大幅に軽減されているので全て対面にしなくて良いと考える。

対面とオンライン併用については留学生や社会人などおおくの学生に有益なので今後とも続けて欲しい

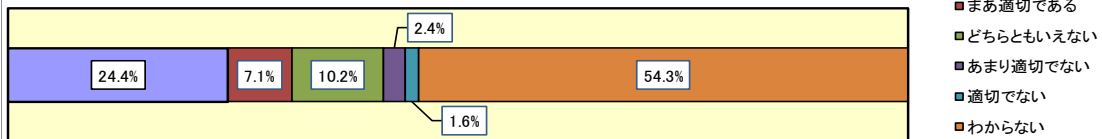
一部オンライン授業があっても、対面授業がその直後にあれば学校でオンライン授業を受ける必要があるので、時間の節約になるとは感じなかった。また、授業の割り当て教室でオンライン授業を受けているにもかかわらず次の授業の学生が入ってきて騒ぐということがあったので呼びかけなど改善してほしい。

D. 学生生活

(14) ハラスメントに対する対応は適切でしたか？

適切である	24.4%
まあ適切である	7.1%
どちらともいえない	10.2%
あまり適切でない	2.4%
適切でない	1.6%
わからない	54.3%

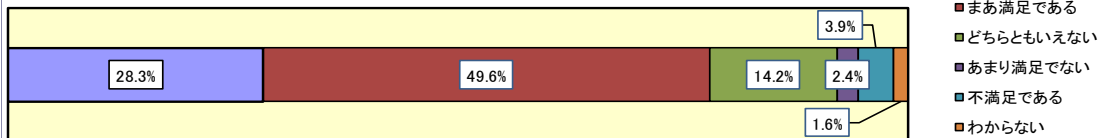
(14) ハラスメントに対する対応は適切でしたか？



(15) 文学研究科・文学部での学生生活全般について、どの程度満足していますか。

満足である	28.3%
まあ満足である	49.6%
どちらともいえない	14.2%
あまり満足でない	2.4%
不満足である	3.9%
わからない	1.6%

(15) 文学研究科・文学部での学生生活全般について、どの程度満足していますか。



(16) 2学期(後期)の学生生活で困ったことを教えてください。(複数回答可)

生協で食事をとれず、栄養面で不安だ	11
課外活動ができずに残念だ	12
図書館や研究室の図書・設備を利用できない	9
アルバイト等ができずに経済的に問題がある	9
孤立して精神的に不安定だ	23
外出が減って運動不足で不健康だ	41
あてはまるものがない	56
その他	9
合計	170

その他

就職のことについて漠然とした不安が出てきた

うつ病になった

事務作業、授業が多く、研究に集中できる環境に乏しい

もともと研究室での交流が少なかったため、卒業論文を1人で書かなければならず不安だった。

進路・就職に対する不安感が強い

研究室が利用できずほぼ在宅作業だった。

アルコールハラスメントを目撃した

孤立はしていないが、前期の終わりに比べ、かなり精神的に不安定で、講義に出席するのも困難だと感じている(相談中)

(D全体)上記の質問・回答について、具体的な理由・意見等があれば記入してください(自由回答)。
授業形態などでうつ病に配慮してくれる教員もいたので助かった。
事務手続きの改善を希望します
附属図書館理系分館に比べて、文系学部生が利用できる図書館(本館)の時間帯が限られていて不便と感じるから。
「いじり」が受ける側にとってはハラスメントであるという人権意識を高めてほしい
図書館が混んでいて利用できないことがあり、居場所に困った。

E. 自由記述

(17)その他、教育環境や学生生活について、感想・要望などがあれば自由に記述して下さい。
文学研究科のeduroamおよびsalが頻繁に障害を起こし、現在も障害発生中です。
オンライン授業等による負担の増加は仕方ありませんが、担当者をたらい回しにされることが多いので、せめて誰に問い合わせをすれば良いのか、事前に提示していただけると、互いに作業フローを簡略化させることができるのではないのでしょうか。
ネットワークを例にあげましたが、さまざまな業務全般的にたらい回しが多いため改善を願います。
どの学部生・院生も附属図書館を24時まで利用できるようにしてほしい。
自身の研究課題をもう一度考え直したいので1年ほどしたら休学か退学しようと考えている。大学以外の人々となつながら機会があれば自身の能力や視野も広がるのではないかと感じるが、なかなかそのような機会が無い。
最強のシステムの改善を求めます。レジが混みすぎて3時間目にギリギリになることが非常に多いです。
空き教室の利用時間をはっきりと定めてもらえたら、利用しやすい。
現在5セメスター以降で履修可能となっている、学芸員科目や各論レベルの専門科目の授業について、1・2年次から履修できると尚良いと思った。専修決定の参考にもなる上、興味関心の幅が広がることで、卒業研究のテーマ設定の際にも役立つと思う。
博士後期の院生が自由に使える共有研究スペースがあれば嬉しい。
美味しいコーヒーがあれば、そして南キャンパスのまわりに午後2時の後まだ食べ物を買えば、幸いです。
入学したことを後悔している
文学部第2講義棟のエアコンが冷風しか来なかったのが、年明けから直っていて良かったです。
頼むから8階のトイレをもっと清潔にしてほしい
他学部の保管する図書を借りる手続きが面倒だった。出来るだけ本館で全ての手続きが完結できるとありがたい。
東北大学全学教育の英語Ⅲ履修において次年度新二年生から有料オンライン教材を導入する件について。当件には問題が様々あるのではなからうか。第一に、学費以外に1万円を超える教材の購入を強制する点である。東北大学の理念に門戸開放があるが、当件はこの理念に反している。なぜなら学生の経済的負担を強制的に増加させることは、大学での学習・研究の継続を困難にする原因となりうる。学生の経済的背景に拘わらず、その学習と研究の場を確保することは大学一般の使命であり、まして門戸開放を謳う東北大学はなおさらである。当件は明らかに学生の自由な学びの障壁となっている点から容認し難い。
第二に、当件について十分な説明が学生側に対して為されていない点で問題である。なぜ有償の教材をさらに購入しなくてはならないのか、その教材を使う必要があるとするのはいかなる根拠があるのか、これらが明らかにされていない。つまり、「TOEFLファミリーをはじめ世界基準として活用されている ETS のアセスメントプログラムを活用し、東北大学、ひいては日本全体の英語の教育と学習と研究の質的向上と発展」という目的そのものの正当性について根拠に基づいた説明がないことが問題である。なぜ「TOEFLファミリーをはじめ世界基準として活用されている ETS のアセスメントプログラムを活用しなくてはならないのか。他の選択肢はどれほど検討したのか。そうしたプログラムを活用することで本当に「東北大学、ひいては日本全体の英語の教育と学習と研究の質的向上と発展」という目的は達成されるのか。そうした目的のためには他の選択肢の方が有効ではないのか。仮にそのプログラムが正当だとして、なぜそれを学生側が追加で有償で購入することを強制されなくてはならないのか。そもそも大学の目的として当件は本当に重要なものなのか。他に優先的に実現すべきことがあるのではないのか。大学が特定の民間団体と強い関係を持つことに問題はないのか。外部の基準を用いて適切に学生の学習状況を的確に把握することができるのか。そうした外部のプログラムを用いること自体に問題はないのか。これらのような問題があり、少なくとも学生側に対して十分な説明は為されていない。東北大学にはこれらの説明責任がある。それが為されないなら、当件はなんら正当性を欠いており、学生の権利を侵害している。
以上から、当件は学生の学びの権利を侵害する東北大学の理念に反する制度であり正当性は認められない。